

2020年5月14日

各位

会社名 株式会社東京放送ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 佐々木 卓
(コード:9401 東証第1部)
問合せ先 グループデザイン局長 玄馬 康志
(TEL. 03-3746-1111)

子会社再編による新会社設立に関するお知らせ

本日開催の取締役会で、昨年11月7日付「子会社再編による新会社設立に関するお知らせ」において開示いたしました新会社について、その概要を決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 内容

厳しさを増す外部環境を乗り越えて、当社グループが業界トップの座を獲得する基盤構築のため、グループ会社の再編に取り組んでおります。その一環として、昨年1月1日、「株式会社TBSスパークル」が主に番組及びコンテンツ制作を担う11社を吸収合併して、また昨年4月1日には「株式会社TBSグロウディア」が興行・催事、コンテンツ販売、TVショッピング等を担当する7社を吸収合併して、それぞれ本格的に稼働いたしました。

この2社に続き、技術関連及び美術・CG関連の業務を担うグループ会社の再編を目指して、新会社を設立する方針を、昨年11月7日に開示いたしました。その新会社につきまして、後述のように代表取締役社長候補等、一部の概要が決定いたしました。

2. グループ再編の基本理念

グループ各社に分散しております、技術及び美術・CGの機能を複合的に集約することで、当社グループの生命線であるコンテンツ力の強化を目指します。加えまして、このグループ再編により、

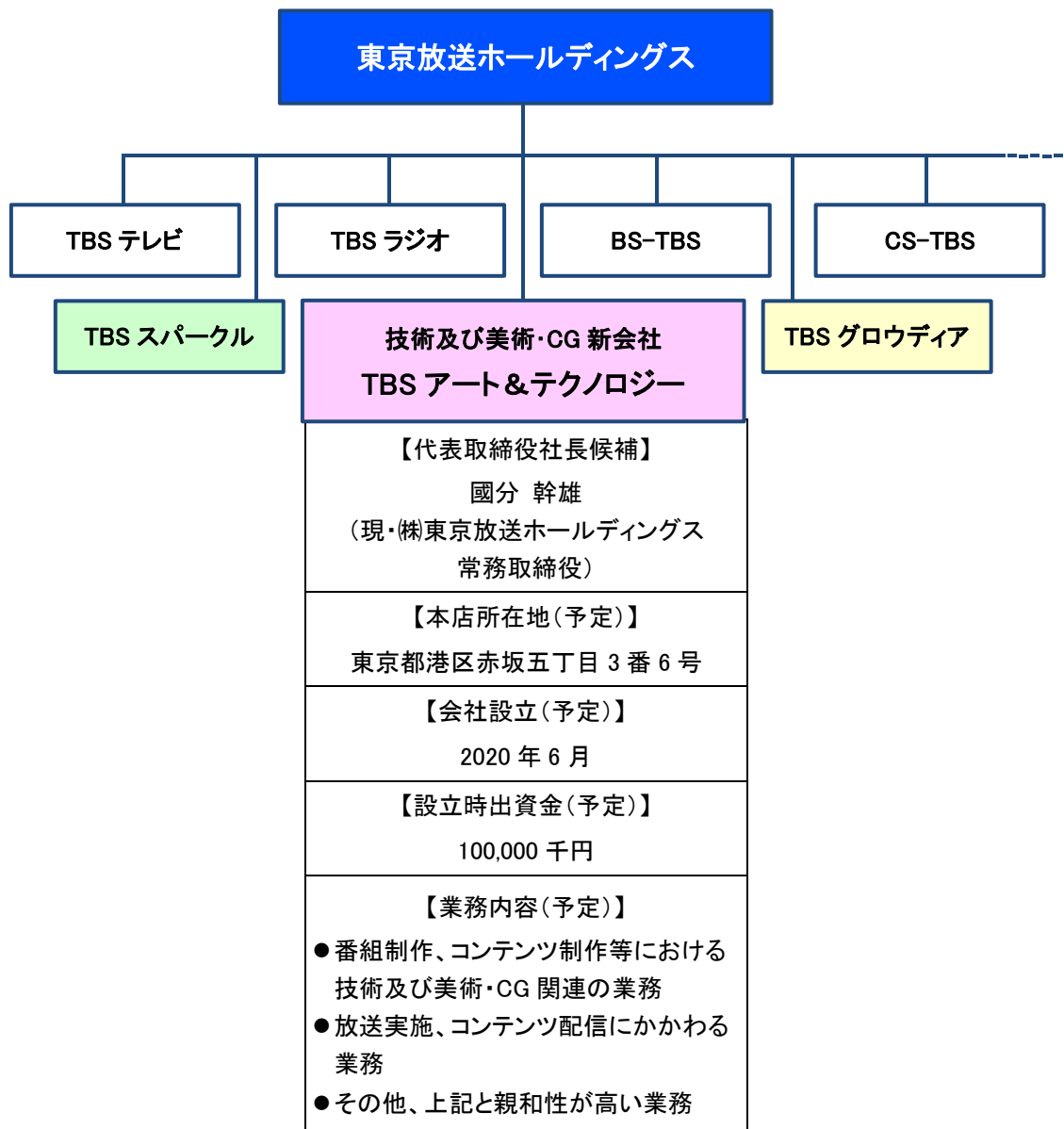
- 多重構造の解消によるグループ一体感の醸成
- 「働き方改革」の推進をはじめ、ワークライフバランスの充実
- 専門性と流動性の両立による従業員のキャリアパスの多様化
- ブランド力アップによるリクルーティング競争力の向上
- グループ内協業体制の明確化による経営効率の改善
- グループ全体のコンプライアンスの強化及びガバナンスの徹底
- 既存領域に囚われない新たな挑戦をするための体制作り

以上を、推し進めてまいります。

3. 具体的なグループ再編の方法

本年6月、当社の完全子会社として、新会社「株式会社TBSアート&テクノロジー」を設立いたします。その後、新会社が、グループ内で技術及び美術・CGの業務を担当している既存子会社のいくつかを吸収合併する形で再編を進めてまいります。

なお、今回のグループ再編の対象会社は、まだ確定しておりません。下図に記されている基幹子会社を除いたグループ会社を対象に、新会社と合併することで、より高いシナジーを生み出すことができるか否かを観点に検討しており、確定次第、別途開示いたします。



※ 詳しい業務内容はじめ、新会社の経営体制や合併対象会社、従業員数等、新会社の概要について、今後、確定次第、別途開示いたします。

4. 新会社への合併日及び新会社の事業開始日

現在、上記のスケジュールは未定であり、確定次第、別途開示いたします。

5. 今後の業績に与える影響見通し

連結子会社を中心とした一部の子会社の再編であるため、業績及び財務状況の規模から、本件に伴う当社の連結の業績に与える影響は軽微であります。

以上

(ご参考)

【当事会社の概要】(2020年3月31日現在)

商号	株式会社東京放送ホールディングス
事業内容	メディア・コンテンツ事業、不動産・その他事業
設立年月	1951年5月
本店所在地	東京都港区赤坂五丁目3番6号
代表者	代表取締役社長 佐々木 卓
売上高	17,759百万円
経常利益	17,750百万円
当期純利益	32,369百万円
資本金	54,986百万円
純資産額	446,737百万円
総資産額	593,842百万円